・この用紙は第２次選考試験対象者のみ８月21日（月）に提出すること。
・提出前に写しを作成し、各自保管すること。

様式４

履　歴　書

・記入上の注意（裏面、別紙）をよく読んでから記入すること

志願種別（○で囲む）	教科（科目）（中・高・中高特別選考のみ記入）	試験の免除等（該当者は○で囲む）	受験番号
小一般 小文化 小多文 小特数 小理科 小英語 中特別 中化学 中多文化 中スポ特 中障特 高英語 高スポ特 高障特 特支 特養教諭 栄養教諭		期末 特別 教職経験 教諭一次 前任 現職 年齢 継続 英語 資格 常勤 講師 等	

ふりがな 氏名		生年月日	昭和・平成　年　月　日　性別
		旧氏名	
現住所（本人）	〒 ☎　－　－		

	学校	学部・学科名	修業期間	卒業・卒業見込・修了・修了見込・中退
学歴	小学校		昭和・平成　年　月～　年　月	卒業
	中学校		昭和・平成　年　月～　年　月	卒業
	高等学校		昭和・平成　年　月～　年　月	第　学年　卒・修・中
			昭和・平成　年　月～　年　月	第　学年　卒・卒見・修・修見・中
			昭和・平成　年　月～　年　月	第　学年　卒・卒見・修・修見・中
			昭和・平成　年　月～　年　月	第　学年　卒・卒見・修・修見・中
			昭和・平成　年　月～　年　月	第　学年　卒・卒見・修・修見・中

最終学歴区分（卒業・修了見込みを含む）（○で囲む）	博士課程修了、修士課程修了、専門職学位課程修了（教職大学院） 4年制大学卒、2年制短大卒、高校卒、その他（具体的に　　）

履　歴

自	至	任免事項	任命権者
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		

自	至	任　免　事　項	任命権者
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		
年　月　日	年　月　日		

賞罰の有無 （○で囲む）	有　・　無	年　月　日	事　項	発　令　庁

上記のとおり相違ありません。

平成　　年　　月　　日

（氏 名）　　印

（自筆署名の場合、押印は不要）

記入上の注意事項

1．学歴欄は、小学校入学から最終学校まで全部記入し、専修・各種学校についても記入すること。
在学期間中に休学期間を含むときは、学校名の後に「休学○年」と記入すること。
通信制の学校は、学校名の後に「（通信）」と記入すること。

2．履歴欄は、最終学校卒業の日から現在までの経歴について年代順に辞令書を参考に記入すること。
本書作成時点において継続して勤務している場合は予定されている期間を記入すること。
中学校卒業後より最終学校までの期間が引き続いていない間の経歴及び在学中の職歴等についても記入すること。家庭にいた期間は「在家庭」とし、民間会社等に勤務した期間については、仕事内容も具体的に記入すること。

3．賞罰の有無欄については、有の場合は「年月日」、「事項」等を具体的に記入すること（懲戒処分等を受けた者は、その旨も記入すること）。

4．履歴欄が不足する場合は、別紙「履歴書作成時の注意事項」（第1次選考試験結果通知時に該当者に送付）の指示に従うこと。

5．記載事項が事実と相違する場合は、採用後においてもその採用を取り消すことがある。

6．その他、別紙「履歴書作成時の注意事項」の記載内容について記入前に十分確認すること。

※履歴書が複数枚になるときは、右枠内にページ番号を記入すること。
（例：全３枚中２枚目の場合「２／３」と記入）

※複数枚提出する場合のみ記入